

会 議 録

会議名	令和3年度 第1回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和3年5月28日（金） 午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	印西市文化ホール 多目的室
出席委員	西村 信 会長、 古賀 一人 委員、 岩井 基 委員、 石川 真樹子 委員、 塚田 昌幸 委員、 篠原 裕子 委員、 計 6名
欠席委員	鈴木 さおり 委員、 山田 葉子 委員、 武藤 茂 委員、 松山 毅 委員、 鈴木 寧子 委員 計 5名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 酒井 和広 [事務局] 子育て支援課：青木 恵巳子、田久保 正樹、海老原 勝人、木村 裕子 4名 [関係課] 保育課：澤田 慎一、植木 浩、成田 勝也 3名 学務課：佐久間 庸夫、寺島 光浩、吉野 郁伸 3名 計 11名
傍聴者	1名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 議 題 （1）印西市立幼稚園のあり方に関する方針について 【資料1】 （2）市内保育園及び小規模保育事業所の利用定員について 【資料2】 （3）その他 4. そ の 他 5. 閉 会
配布資料	・令和3年度 第1回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・印西市子ども・子育て会議 委員名簿 ・【資料1】印西市立幼稚園のあり方に関する方針について ・【資料2】市内保育園及び小規模保育事業所の利用定員について

会議概要・審議経過

事務局の紹介

健康子ども部長あいさつ

出席者6名で定足数を超過していることを報告

資料確認

1 開 会

2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

3 議 題

(1) 印西市立幼稚園のあり方に関する方針について

○事務局より説明

○質疑

【委 員】 瀬戸幼稚園をもとの幼稚園へ令和6年に集約するという流れの中で、まだ時間があるが、少子化及び環境変化や預かり保育などを鑑みて本当に集約でいいのか、他の私立幼稚園や保育園などへの受け皿についての選択肢をどのように考えているのか。

また、建て替えやスクールバスの運行をするということで、行政の財政を圧迫するが大丈夫なのか、また定員割れについては撤退基準があるのか伺いたい。

【事 務 局】 公立幼稚園の役割がある中で、まずは職員の人員確保をしなければならない。現在は正規の職員や会計年度任用職員で運用しており、人員確保が非常に難しいのが現状です。公立幼稚園の必要性としては、瀬戸幼稚園の園児の減少が著しいこともありもとの幼稚園に集約することで、集団による活動を保障してあげることや、もとの幼稚園の園児が現在224名おり公立幼稚園にはまだ需要があることから、集約化をすることで教育活動をより充実させていきたいと考えています。

瀬戸幼稚園の建て替えについては施設や遊具の老朽化が著しいということから、建て替えや改修をするには相当な経費が掛かり難しい状況です。もとの幼稚園についてはキャパもありますが園児の推移を見極めながら、改修や増築をすることを検討することになります。

定員割れの撤退基準については、はっきりした数字はありませんが、園児の集団での活動を保障してあげるためには一定の定員が必要であり、配慮していきたいと考えています。

【委 員】 定員が105名とありますが定員と充足率の考えについてはいかがか。

【事 務 局】 幼稚園の設置基準35名を3クラスとして考えており、35名には満たっていない。

- 【委 員】 定員が半分いかないと厳しい、今後はどうなるか次のトレンドを追っているのか。
- 【事 務 局】 平成24年には全国幼稚園教諭協会の実地調査で一学級の適正人数を示されており、3歳児なら20人前後、4歳5歳児なら20人～30人と示されており、本市では定めていませんが、定員に対する園児数、適切な人数を見極めながら、今後方針の見直しをしていきたいと考えております。
- 【委 員】 集約の予定が令和6年4月1日ということですが、令和6年になったのは今の4歳児や5歳児の子どもたちが卒園を迎えてなど、様々な配慮のもとに令和6年になったものと考えられますが、令和6年になった理由があれば教えていただきたい。
- 【事 務 局】 瀬戸幼稚園の現状からみるとだいぶ園児が減ってきているため、今後の学びの保障が難しい状態となってきているのが現状であり、施設の老朽化も含めてこの日程で進めていきたいと考えています。また、在籍する園児については瀬戸幼稚園で卒園できるように保護者の皆様や地域の皆様にご意見等を伺いながら慎重に進めていきたいと考えております。
- 【委 員】 瀬戸幼稚園を閉園して、もとの幼稚園に集約するという考え方でいいのか。
- 【事 務 局】 瀬戸幼稚園を閉園するということではなく、2つの園を集約するということです。瀬戸幼稚園を存続しながらということも含めて、今後は園児数では園の教育が成り立たないことなどから、瀬戸幼稚園を閉園することが大前提ではなくてあくまで、2つの園を集約化することを前提に、需要があるならば瀬戸幼稚園を存続することも含めて準備を進めていきたいと考えています。
- 【委 員】 休園ということも含めてですか。
- 【事 務 局】 今後の状況にもよりますが、休園も含めて考えていきたいと思います。
- 【委 員】 印旛地区に幼稚園が無くなってしまう場合は、送迎はしていただきたい。
公立保育園の役割として発達に課題のある園児の受入れについて資料にも記載があるが、印西市立子ども発達センターと連携をとり発達に課題のある園児についても受け入れをしっかりと行っていただけたらと思います。
- 【事 務 局】 バスによる送迎を配慮し、もとの幼稚園の受入れ等の充実を図って参りたいと考えています。発達に課題のあるお子さんが増えてきているのが現状で、公立幼稚園の2園では適切な支援を行っているところですが、発達に課題のある園児のことも含めて支援の充実を図っていきたいと考えております。
- 【委 員】 もとの保育園の側に、みらいたきの保育園が開園する予定ですが、駐車場は確保できるのか、また、もとの幼稚園はこのまま存続していくなら、私立幼稚園にはない発達に課題のあるお子様などを受け入れられるのは公立幼稚園ではないでしょうか。

【事務局】 もとの幼稚園は園児数の減少に伴って存続していけるのかというところですが、今後園児が減っていくことは予測される、現在の方針では集約化ということでお示していますが、よく見極めて見直しを図っていきたいと考えています。需要がある限り存続していくことで検討していきたい。瀬戸幼稚園と同じ状況で、子どもたちの活動が保障できない状況になってきたら、検討していくことになります。また、発達に課題のあるお子様については、私立幼稚園でも受け入れていると思いますが現在のところできる限り公立幼稚園で受け入れているのが現状です。

みらいたきの保育園につきましては、小規模保育園ということで、最大19名を受け入れ滝野地区の住宅を一部改装して設置する予定です。

【会長】 次の議題に入らせていただきます。
「市内保育園及び小規模保育園事業所の利用定員について」事務局より説明をお願いします。

【委員】

(2) 市内保育園及び小規模保育事業所の利用定員について

○事務局より説明

○質疑

【委員】 あい・あい保育園千葉ニュータウン中央園では放課後の障がいを持っている方の放課後デイサービスを一緒にやるということで期待をしていたところですが、保育園の待機児童というところでは保育園の誘致は必要なかと思いますが、一方で放課後デイサービスが不足している中で、当初の計画が放課後デイサービスだったのに、なぜ保育園に計画が変わったのか。また、みらいたきの保育園の駐車場問題について近隣の住民の方に迷惑がかからないような対策は考えているのか伺いたい。

【事務局】 あい・あい保育園千葉ニュータウン中央園の設置について、放課後デイサービスが優先されるべきではないかとのことですが、詳細については分かりかねるが、建物のオーナーや管理組合との折り合いから放課後デイサービスの設置が難しかったと伺っています。また、駐車場問題については、計画の中で6台のスペースを確保して行うということからある程度の基準は満たしており、今後、地元住民の方々との協議を踏まえて事業の実施について検討していきたいと考えています。

【委員】 今回は6園の新設と3園が定員の変更の予定となっていますが、職員の採用のめどはたっていますか。

【事務局】 職員の配置については保育園が一気に開設するので難しいということは認識していますが、4月1日に確実に開園できるよう各事業者がさまざまな工夫をして募集をしていますので、開園時の職員の配置については大丈夫だと考えています。

【会 長】 (1)「印西市立幼稚園のあり方に関する方針について」及び
(2)「市内保育園及び小規模保育事業所の利用定員について」は、
事務局の説明でよろしいか。

【委 員】 全員賛成で異議なし。

(3) その他

○質 疑

【委 員】 特になし。

4 その他

○事務局より連絡事項等

・次回会議予定について

5 閉 会

令和3年度第1回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和 3年 6月28日

子ども・子育て会議委員 篠原 裕子

子ども・子育て会議委員 塚田 昌幸